

岡山浄水場
中央監視制御設備更新事業

優先交渉権者選定基準

平成 29 年 6 月

岡山県広域水道企業団

－ 目 次 －

1. 本書の位置付け.....	1
2. 審査方式.....	1
3. 優先交渉権者選定の手順.....	2
3.1 優先交渉権者選定フロー.....	2
3.2 各選定内容.....	3
3.3 優先交渉権者の選定.....	4
4. 総合評価点の内容.....	4
4.1 配点方針.....	4
4.2 技術評価点の審査項目及び配点.....	4
4.3 価格評価点の算出方法.....	4

1. 本書の位置付け

本優先交渉権者選定基準は、岡山県広域水道企業団（以下「企業団」という。）が設計・施工一括発注方式（デザインビルド方式、以下「DB方式」という。）により発注する岡山浄水場中央監視制御設備更新事業（以下「本事業」という。）を実施する民間事業者を決定するにあたり、その優先交渉権者の選定を行うための基準を定めたものである。

2. 審査方式

本事業は、民間企業の技術力・ノウハウ等を総合的に評価して選定することが必要であることから、優先交渉権者の選定にあたっては公募型プロポーザル方式を採用し、提案価格並びに技術提案に係る非価格要素を含めた総合的な評価により選定する。

3. 優先交渉権者選定の手順

3.1 優先交渉権者選定フロー

優先交渉権者の選定は、次の手順で実施する。

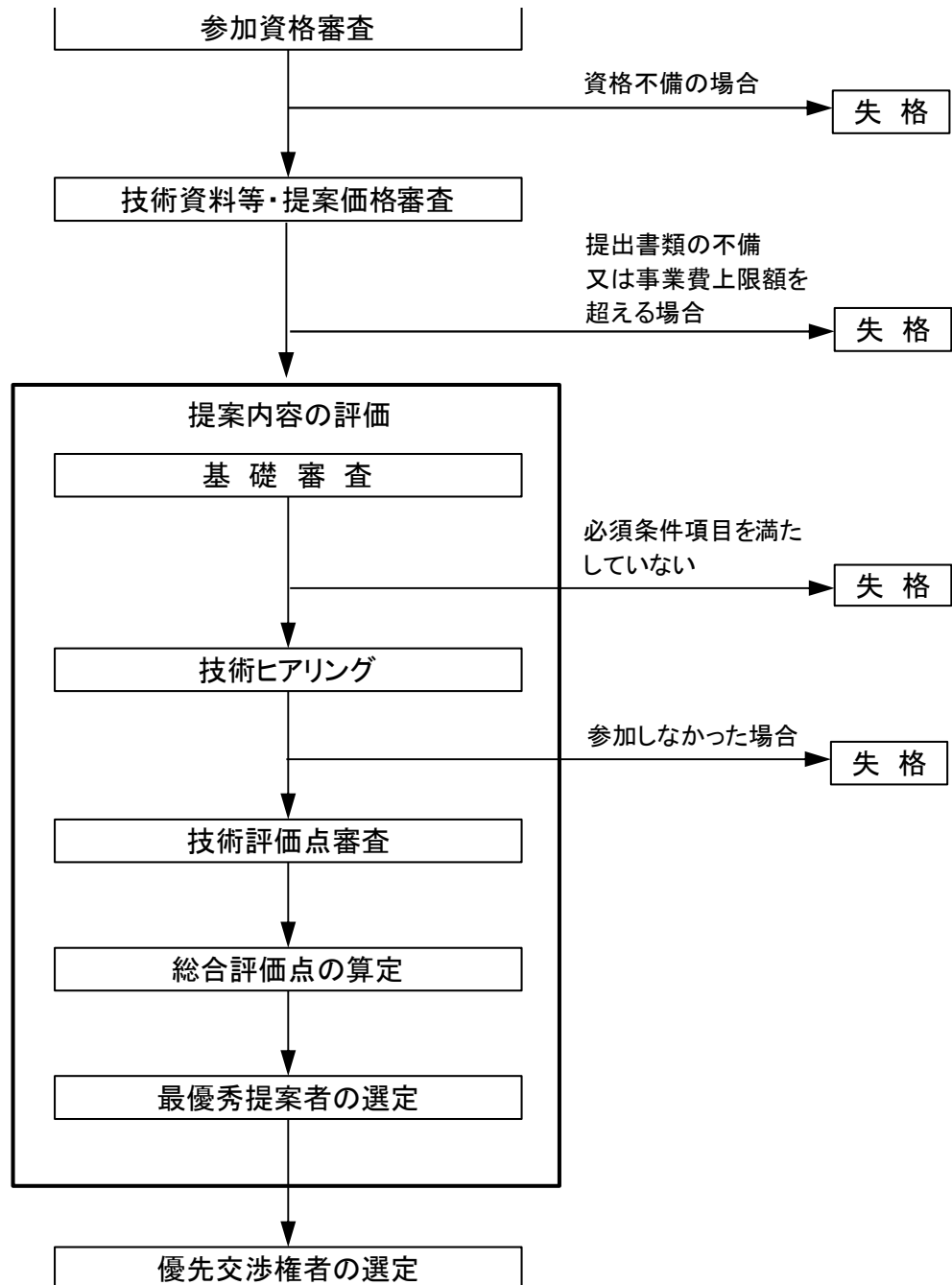


図-1 優先交渉権者選定のフロー

3.2 各選定内容

(1) 参加資格審査

ア 資格確認申請時における必要書類の確認

企業団は、参加者から提出された資格確認申請書及びその添付書類について、実施公告にて求めた必要書類が全て揃っていることを確認する。書類不備の場合は失格とする。ただし、軽微な書類不備等の場合はこの限りではないこととし、追加提出を求める場合がある。

イ 参加資格保有の確認

企業団は、参加資格の確認として、参加者が実施公告で規定する本事業を実施するために必要な資格を有していることを確認する。参加資格を確認できない場合は失格とする。

(2) 技術資料等・提案価格審査

企業団は、参加資格要件を満たすことが確認できた参加者を対象として、実施公告において提出を求めた技術資料等及び提案価格書が全て揃っていることを確認する。書類不備の場合は失格とする。ただし、軽微な書類不備等の場合はこの限りではないこととし、追加提出を求める場合がある。

また、参加者が提出する提案価格書に記載された提案価格が、事業費上限額以下であることを確認する。事業費上限額を超える場合は失格とする。

(3) 提案内容の評価

ア 基礎審査

「岡山浄水場中央監視制御設備更新事業 優先交渉権者選定委員会（以下「委員会」という。）」は、提案価格が事業費上限額以下の参加者を対象として、必須条件項目達成の審査を行う。

提案内容が要求水準書に定められた必須条件項目を満たしていることを審査し、必須条件項目を満たしていない場合は失格とする。

イ 技術ヒアリング

参加者は、委員会及び企業団に対して、技術資料等の概要についてプレゼンテーションを行う。その後、委員会及び企業団から、技術資料等において確認が必要な事項についてヒアリングを行う。なお、ヒアリングに参加しない場合は失格とする。

ウ 技術評価点審査

委員会は、要求水準書に記載された特定条件項目について、技術資料等の内容及びヒアリング結果により総合的に審査を行い、技術評価点として得点化する。なお得点化方法については「4.2 技術評価点の審査項目及び配点」による。

エ 総合評価点の算定

委員会は、技術評価点と、提案価格により算出される価格評価点（4.3 価格評価点の

算出方法による)を加えた総合評価点を、参加者ごとに算定する。

オ 最優秀提案者の選定

委員会は、各参加者の総合評価点が最も高い提案を最優秀提案とし、最優秀提案者を選定する。

3.3 優先交渉権者の選定

企業団は、委員会の選定結果を基に優先交渉権者を決定する。

4. 総合評価点の内容

4.1 配点方針

技術評価点と価格評価点の配分は、以下の配点とする。

$$\text{総合評価点 (130 点)} = \text{技術評価点 (90 点)} + \text{価格評価点 (40 点)}$$

4.2 技術評価点の審査項目及び配点

技術評価点は、要求水準書の 6.2 特定条件項目及び表-1 により各項目について審査を行い、項目ごとの評点を合計したものとする。

4.3 価格評価点の算出方法

価格評価点は、以下の算定方法で算定する。

ア 参加者の中で、提案価格書に記載された提案価格が最低の者に、配点の満点である 40 点を付与する。

イ 上記以外の参加者の得点は、最低提案価格との比率をもって小数点以下第 3 位を四捨五入し小数点第 2 位まで求める。

$$\text{価格評価点} = \text{配点 (40 点)} \times \text{最低提案価格} / \text{当該提案価格}$$

表-1 技術提案内容の審査項目と配点

No.	大項目	小項目	評価内容	配点
1	システムの性能・機能 についての所見	本工事全体の 整備方針	以下の項目について評価する	18
			①制御装置の機能分散（ハードウェア及びソフトウェア）が、当浄水場の施設系列単位、設備単位に対して適正に考慮されていること	
			②制御装置が動線を考慮した配置計画となっていること	
			③運転管理の効率化について考慮されていること	
		監視制御設備 の信頼性	以下の項目について評価する	9
			①LCD監視装置でシステム稼働状態を詳細に把握できること	
			②制御系ネットワークの二重化構成、信頼性について考慮されていること	
		監視制御設備 の機能性	以下の項目について評価する	14
①制御装置の制御・演算ソフトウェア構築機能（エンジニアリング機能）をユーザへ開放し、ユーザで改造できる構造となっていること				
②ユーザがエンジニアリングを行う為に、メーカーによるエンジニアリングの支援がされていること				
③設備に影響を与えることなく制御装置を稼働状態のまま、ユーザにてエンジニアリングの作業ができること				
④既設システムと同等のLCD監視装置の操作性が確保されていること				
監視制御設備 の継承性	以下の項目について評価する	6		
	①システム世代間の継承性が確保されており、長期間使用に耐える思想となっていること			
監視制御設備 の保守性	以下の項目について評価する	8		
	②メーカーの保守サポートセンターで24時間365日リモートメンテナンスが可能であること			
6	切替計画	以下の項目について評価する	19	
		①切替期間において、単独のLCD監視装置及び単独の情報処理装置での監視操作が常時継続され、運転管理員への負担軽減が図られていること		
		②浄水場及び場外施設の運転監視への影響が最小限となるよう、安全かつ短期間で切替を行うための計画となっていること		
		③各装置間のケーブル接続の切替期間を短縮するための工夫があること		
		④設備への運転影響を考慮した上で、年度ごとの装置・接続の切替手順が具体的に示されていること		
		⑤切替に伴う各装置停止期間の短縮に工夫があること		
7	施工計画	以下の項目について評価する	6	
		①各種条件（現場施工時期、製品出荷時期、切替期間）を踏まえた工程計画に現実性があること		
8	維持管理	維持管理性	①更新後のシステム全体の適正な保守計画・内容・費用について評価する。	10
			計	